
 化学物質等の名称 ハイドロプルーフ WP-MX

5 火災時の措置

消火方法

- ・適切な保護具を着用する。
- ・火災を増大させる危険性があるものを周囲から速やかに取り除く。
- ・関係者以外は安全な場所に退去させる。
- ・消火活動は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。
- ・この物質は不燃性であるが、燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがあるので注意する。

消火剤

- ・水噴霧
 - ・泡
 - ・粉末
 - ・二酸化炭素
-

6 漏出時の措置

- ・関係者以外の立ち入りを禁止する。
 - ・付近の着火源、高温体などを速やかに取り除く。
 - ・作業に際しては適切な保護具を着用し、衝撃、静電気にて火花が発生しないような装置、材質の用具を用いる。
 - ・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備しておく。
 - ・乾燥砂、不燃性吸収剤などに吸収させて密閉できる空容器に回収する。
 - ・大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
 - ・残留分は塩酸や硫酸などで注意深く中和し、多量の水で洗い流す。
 - ・付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。
 - ・河川等へ排出されて、環境への影響を与えることのないよう注意する。
-

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・取扱いは、換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。
- ・適切な保護具を着用し、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないようにする。

保管

- ・取扱い後は、手、顔などを良く洗う。
 - ・密栓した後、規定の場所に保管する。
 - ・酸化剤、酸から離して保管する。
-

8 暴露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない。

許容濃度

(アモルファスシリカとして)

ACGIH TLV TWA 1000ppm(エタノール)

OSHA PEL : 8H TWA 1000ppm(エタノール)

NIOSH REL TO SILICA, amorphous, precipitated, gel-air: TWA 6 mg/m³

設備対策

- ・作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。
- ・取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

保護具

保護眼鏡

保護眼鏡（ゴーグル型）。状況に応じ保護面。

保護手袋

耐食性のある手袋。

呼吸用保護具

状況に応じ防毒マスク、簡易防毒マスク等。

保護衣

不浸透性の保護服。状況に応じ前掛け、長靴等。

 化学物質等の名称 ハイドロブルーフ WP-MX

9 物理的及び化学的性質

外観等	乳白色又は不透明液体
融点	情報なし
密度(比重)	1.01~1.02g/ml (20℃)
沸点	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
溶解度	情報なし
引火点	情報なし
発火点	情報なし
爆発限界	情報なし
下限	情報なし
上限	情報なし
その他	伸び率：250~260%(25℃) pH : 6.0~6.5 粘度 : 10mPa・s 以下

10 安定性及び反応性

安定性・反応性	通常 of 取扱い条件においては安定。 一酸化炭素、二酸化炭素、酸化けい素、金属酸化物などの危険有害な分解生成物を生じる恐れがある。 酸化剤、酸などとの接触に注意する。
---------	--

11 有害性情報

刺激性	皮膚、眼、粘膜を強く刺激し、炎症や薬傷を起こす恐れがある。 皮膚や眼に対しての刺激性データが報告されている。(エタノール) <ul style="list-style-type: none"> • skn-rbt 20 mg/24H MOD • eye-rbt 500 mg SEV 皮膚に対しての刺激性データが報告されている。(エタノール) <ul style="list-style-type: none"> • skn-hmn 250 mg/24H SEV • skn-rbt 250 mg/24H SEV • skn-gpg 250 mg/24H MOD
急性毒性	急性毒性のデータが報告されている。(エタノール) <ul style="list-style-type: none"> • orl-man TDL₀: 50 mg/kg • orl-rat LD₅₀: 7060 mg/kg • ihl-rat LC₅₀: 20000 ppm/10H • skn-rat LDLo: 20 mg/kg
その他	記載のデータは、RTECS より抜粋しております。これら以外のデータや更に詳細な情報につきましては、原本をご参照ください。 [RTECS 番号：KQ6300000 (エタノール)]

12 環境影響情報

環境影響情報 分解性	漏洩・廃棄などの際は、環境に影響を与える危険性があるので、取扱いに注意する。 分解性が良好と判断される化学物質 (通産省公示) (エタノール)
---------------	--

化学物質等の名称	ハイドロプルーフ WP-MX
----------	----------------

- 13 廃棄上の注意
- ・処理に際しては十分な知識を有した専門家に相談した後、危険性に充分配慮する。
 - ・適切な保護具を着用する。
 - ・関係法規や条例に従って処理する。
 - ・保健衛生上危害を生じる恐れがないようにする。
 - ・空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。
 - ・処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
-

- 14 輸送上の注意・運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
国連の分類基準に該当せず。該当なし。
国連分類 国連番号
-

- 15 適用法令
- ・施行令第18条の2 名称等を通知すべき有害物告示番号311 (アモルファスシリカ)
 - ・海洋汚染防止法： 施行令別表第1 有害液体物質(C類)(ケイ酸ナトリウム)
- 労働安全衛生法 その他
-

16 その他の情報

・このMSDSは、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先してください。ご購入いただいた商品は、安全性の点からも速やかに消費されることを大前提としております。その後、新たな情報や修正が加えられる場合もありますので、万一ご使用時期が大幅にずれ込んだり、ご懸念を抱かれた場合には、改めて弊社にご相談ください。また記載の注意事項は、通常の取扱を対象としたものであって、特別な取扱をする場合は状況に適した安全対策を実施の上、十分な注意を払う必要があります。すべての化学製品は『未知の危険性、有害性がある』という認識で扱うべきであり、その危険性、有害性も使用時の環境、扱い方、あるいは保管の状態、期間によって大きく異なります。ご使用時はもちろんのこと、開封から保管、廃棄に至るまで、専門的知識、経験のある方のみ、あるいはそれらの方々の指導のもとで取扱うことを警告します。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるよう、お願い申し上げます。

- ・産業中毒便覧 増補版、後藤稔 他編、医歯薬出版(1994)
- ・13901の化学商品、化学工業日報社(2001)
- ・Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS), NIOSH(CD-ROM版)
- ・The Hazardous Substances Data Bank (HSDB), NLM (CD-ROM版)
- ・Sax's Dangerous Properties of Industrial Materials 9th ed., R. J. Lewis, Sr., Van Nostrand Reinhold (CD-ROM版)
- ・The MERCK INDEX 12th ed., Merck & Co., Inc., Chapman & Hall(CD-ROM版) 引用文献